

一 般 質 問 通 告 書

質問事項	質問要旨
22番 神田 育男	
1. 迷惑防止条例の制定を	過去にも質問し、他の議員からも質問のあった項目です。犬の糞害だけでなく、包括的な内容で検討するとのことであった。検討はどの程度進んでいるのか。
2. 狛田西地区の早期開発を	企業を取り巻く環境は厳しいものがあるが、京阪が所有している用地(50ha)は、既に市街化区域となっている。企業誘致と働く世代の居住者を増やし、税収増対策が急がれる。強力な働きかけが必要。また近鉄所有用地(85ha)の市街化計画の見通しは。
3. コミュニティバスの運行改善を	<p>交通不便地域の方を、公共施設や商業施設への輸送手段として実施されていると理解していますが、運行実態と実証運行委託費の改善策について伺います。</p> <p>(1)平成19年度の委託費は2434万円、20年度の決算は出ていませんが21年度の予算では360万円アップの2795万円が計上されています。交通不便地域の利便性の向上もさることながら、厳しい財政難の折、利用者の増加対策による、経費の削減も同時に考慮しなければなりません。具体的な改善計画を考えているのか。</p> <p>(2)南ルートと北ルートでは利用者数に極端な相違がある。今後利用者数の改善は見込めるのか。</p> <p>(3)本町における交通不便地域とは、どのように定義づけているのか。</p>
4. 自動販売機の設置利用料金の改善を	<p>町内の公共施設における自販機の実態は</p> <p>(1)規模の差は有るが、ある自治体では公共施設における自動販売機の設置を競争入札に変更したところ大幅な歳入の向上が図れたとのこと。競争入札により歳入アップを図る必要があると思うが如何か。</p> <p>(2)本町では5施設合計8台の自動販売機が設置されているが、使用料として町に入ってくるのは庁舎の1台分46,000円だけである。病院とコミセンの4台は、指定管理者に運営を移管されているので理解できるが、むくのきセンターと、かしのき苑の3台については町の収入に入れるべきでは。</p>

質問事項	質問要旨
11番 山本 清悟	
1. 福祉関係について	<p>(1) 現行、定期的に指定日に開催されている高齢者あんしん相談、障害者生活相談、社協介護相談等の常設相談窓口体制の構築を求めます。</p> <p>(2) 介護保険証の発行時及び障害者手帳の交付時等において受けられるサービス内容の説明をどのように実施しているのか伺う。</p>
2. 道路関係について	<p>(1) 山手幹線の木津方面及び京都方面の開通見込みと現状の進捗状況を伺う。</p> <p>(2) 山手幹線と交差している南稲・堂ヶ島線に信号設置という住民要望のその後の状況を伺う。</p> <p>(3) 町道祝園東畑線の道路拡張と今後の計画等を伺う。</p> <p>①今後の拡張計画（道路拡張、通学路としての歩道整備等）</p> <p>②全線道路利用に対する町の考え方</p>
3. 地域環境について	<p>(1) 旧村地域の街灯設備について今後老朽化取替え時に器具等の改善を求める。</p> <p>(2) 新旧地域の児童公園等の設備、遊具等の格差の解消策を伺う。</p>

質問事項	質問要旨
20番 三原和久	
1. 新型インフルエンザについて	<p>新型インフルエンザウイルスは人類にとって未知のウイルスで、私たちには免疫がありません。人口の増加や都市への人口集中、飛行機など高速大量交通機関の発達から、急速な世界的大流行を起こす危険性があります。厚労省では最悪の場合、200万人が入院し、64万人が死亡すると予測しています。</p> <p>「いつ来るかは分からないが、いつかは必ず来る」というのが専門家の中で定説になっており、準備がなければ社会は大混乱に陥ります。自民党が中心となって、昨年、新型インフルエンザ対策として改正感染症法と改正検疫法を成立させました。</p> <p>大正7(1918)年に流行した「スペインかぜ」と呼ばれたインフルエンザは世界で約4千万人、わが国でも約39万人の死者を出しました。その後もアジアかぜ、香港かぜ、ソ連かぜが10年から40年の周期で流行してきましたが、この数十年間は発生がありません。地球規模で発生している鳥インフルエンザのウイルスが、新型インフルエンザウイルスに変異することが懸念されていましたが、今年に入り、違う新型インフルエンザが世界的に大流行になりました。世界保健機関(WHO)が新型インフルエンザの警戒度を、世界的大流行(パンデミック)に移行する可能性を意味する「フェーズ4」に引き上げ、世界では感染がさらに拡大。WHOが「フェーズ5」に引き上げたほか、日本でも感染者が相次ぎました。</p> <p>日本で初めての新型インフルエンザ感染者は、カナダから帰国した大阪府立高校の生徒3人と教師1人で、成田空港近くの病院に入院し、水際でウイルス上陸を阻止した形をとりましたが、しかし帰国便で生徒らの近くにいた乗客らに対する停留措置が解除された後、兵庫県で海外渡航歴のない高校生らに感染の疑いが浮上し、感染が確定しました。国内で人から人への感染が起きていることが現実になって、また直後に大阪府でも感染者が確認され、その後、東京都や埼玉県などでは、関西を旅行などで訪れた人から感染が確認され、広がりを見せた。政府対策本部は、今回の新型インフルエンザの特性がはっきりしてくるのに従い、強毒性の鳥インフルエンザを想定した行動計画を、より柔軟な運用に変えていった。しかし、国内での感染者が確認された5月16日、対策本部が発表した「確認事項」は、学校の休校要請を都道府県単位から原則市町村単位に縮小し、集会の自粛要請などは見合わせ</p>

	<p>たが、感染が拡大し兵庫と大阪の全域で休校などの事態に陥ると、地元から「都市機能がまひする」との悲鳴が上がりました。</p> <p>しかし、WHOでインフルエンザ対策を指揮するケイジ・フクダ事務局長補代理は5月22日の会見で、「地球規模で見れば、今後数カ月は感染拡大が続くことは明らかだ。南半球の冬に何が起きるか、北半球の秋以降に何が起きるか、我々には分からない。ウイルスは変化しやすいものだ」と述べ、警戒を続ける必要性を強調しました。</p> <p>今回の新型の特徴に、10代後半の患者が多く、高齢者の患者が少ないことや、日本でも患者の約85%が高校生以下で、集団生活の時間が長いなど、若い人の行動形態が大きな要因とみられています。</p> <p>京都府議会では5月臨時会が26日に開会し、新型インフルエンザの感染拡大に備え、抗インフルエンザウイルス薬購入費などに充てる本年度一般会計補正予算案が提出され、来年度に備蓄予定だった「タミフル10万人分」を早期に確保するとともに、発熱外来を設置する医療機関に診療機材の購入費を支援する補正予算案として、山田啓二知事は「府民の安心、安全対策について、さらに先を見通して強化を図りたい」と提案説明しました。</p> <p>そこで伺います。本町での対応はどのように考えていますか。</p> <p>(1) 保育所・小中学校臨時休校時の授業時間の補習はどのような対応か。</p> <p>(2) 発生時の住民への連絡方法は。</p> <p>(3) 町独自のマスク、抗インフルエンザウイルス薬の備蓄は。</p>
<p>2. 国道163号拡幅工事について</p>	<p>国道163号の拡幅工事はどれくらい進んでいますか。</p> <p>また、桜が丘地域に対しての説明会は今後あるのでしょうか。</p>
<p>3. 緊急搬送体制について</p>	<p>初めて救急搬送専用の車両が登場したのは、19世紀初めのナポレオン戦争であり、ドミニク・ジャン・ラーレーが発明したとされています。軍医長のラーレーは、戦傷者への迅速な治療のため軍救急部隊を編成して、戦場にあっても傷病者がいち早く野戦病院へ搬送されるシステムを構築し、このときに使用された車両が最初の救急車だとされています。救急車の最大の目的は、緊急の差し迫った傷病者を病院などの医療施設まで迅速かつ安全に搬送することです。そこで伺います。</p> <p>桜が丘地域で緊急搬送要請があった場合、現場に駆けつけるまでの時間はどれくらいか。</p>

質問事項	質問要旨
18番 佐々木 雅彦	
1. 経済政策について	<p>内発型・循環型経済への方針を問う。</p> <p>(1) 産業立地と消費動向からの課題 「学研開発をバネに」という言葉を聞いて久しいが、その具体的効果、投資・消費動向から、地元経済を発展させるための課題をどのように認識しているのか。「地域」とは、「活性化」とは何を指すのか。生産額・雇用数・地元企業への波及効果の実態とあるべき姿・ビジョンは何か。</p> <p>(2) 循環型経済の効果と仕掛け 「地域内再投資」「地域内消費」を進めることが、循環型経済を促進し「拡大再生産」型の地域経済を確立することになる。その認識と誘導方向は何か。</p>
2. 福祉政策について	<p>(1) 国民健康保険…税の減免運用、窓口負担減免の運用、周知を問う。 この間の決算審議などで、窓口負担減免制度が全く活用されていない状況が続いている。昨今の住民状況から、該当者なしという事態ではないはずであり、原因は制度の不知が有力である。また、税のほとんどが前年度所得をベースに算定されることになっており、現瞬間の実態とは異なる場合も発生する。払える制度運営を問う。</p> <p>(2) 各種計画の達成状況などモニタリングを問う。 この間、各種計画が策定されている。計画策定が目的ではなく、それを通じて関係者が必要なサービスを楽しむことが目的である。そうであるならば、計画のモニタリングを住民参加で展開し、計画とズレのある場合は、その検証や実態に合致した計画修正が必要である。高齢者・障害者・子ども・地域などの分野における各種計画の検証状況と住民参加状況を問う。</p> <p>(3) 介護認定の現状を問う。 この春、介護認定の方法が変更された。しかし、政府は従来の介護制度での運用も容認している。昨年度までの状況と今年度の状況の検証および具体的運用実態を問う。また、各施設やケアマネなどへの情報提供について問う。</p> <p>(4) 訪問看護ステーションの方向性を問う。 現在、介護事業として唯一直営の事業所である訪問看護ステーションは、有意義な業務を展開している。ケアマネも擁し、全てではないものの要介護者や家族などの実態を把握することもできるなど、</p>

	<p>現場主義の典型的な事業所である。巷間、「民営化」ということも耳にするが、現状を充実させる方向を求める。</p> <p>(5) 新型インフルエンザ発生時の対応を問う。</p> <p>新型インフルエンザをめぐる対応から、何を教訓としたのか。行政としての対応態勢、住民への情報提供、休校・休園などの際に不利益・不便を生じる住民への対応の観点で方向性を問う。</p>
--	--

質問事項	質問要旨
8番 植山 米一	
<p>1. 私のしごと館廃止問題と学校でのキャリア教育について</p>	<p>私のしごと館は、世界最大級の体験型職業労働博物館として、平成15年83,000㎡もの広大な敷地に581億円もの巨額の建設費をかけてオープンした施設であります。マスコミでも赤字の垂れ流しの施設だと批判を浴び、昨年より民間委託されましたが、昨年末の閣議で来年8月までに廃止することが決定された施設であります。</p> <p>先月、住民の視点から活用作を考える市民フォーラムが開催され、パネルディスカッションの席上で、町長は「わずか数年で廃止する国の責任を問いたい。」という趣旨の発言をされたと聞き及んでいます。責任を問うのは当然であります。</p> <p>①本町として廃止後、どのような利用案を提案していくのか。 ②具体性はあるのか。</p> <p>伺います。</p> <p>また、これに関連して教育委員会にお尋ねしますが、フォーラムの席で、ある中学校長から「学校でのキャリア教育重視の流れに逆行する。」との意見があったと報じられていますが、</p> <p>①町内の学校行事では、私のしごと館を利用しているのか。 ②また、雇用情勢が非常に厳しくなり、いわゆるニートの若者が急増している今日学校現場では、キャリア教育として、何の時間にどのようなことを教えているのか。</p> <p>伺います。</p>
<p>2. 下水道事業の進捗状況について</p>	<p>下水道は、健康で快適な生活環境の確保と河川の水質保全のために、今日では不可欠な公共設備であります。道路、公園など数あるインフラの中でも、住民の要望の最も高いインフラであると思います。下水道が初めて利用できるようになった住民の方は、トイレの快適さはもちろんですが、蚊の発生源である側溝への汚水がなくなり、非常に喜んでおられます。</p> <p>本町の下水処理人口は約90%に達しているのに、私どもの山田川流域では、なかなか使える状況には至っていません。</p> <p>各戸の排水が下水管に接続可能になるのは、いつ頃からか。</p> <p>私は2年前にも同様の質問をして、一定の答えを頂きましたが、その時とは状況もずいぶん変わっていますので、改めて質問したいと思います。</p> <p>山田区の西部、山田川の南側、乾谷区、柘榴区、それに流域は</p>

違います。東畑区、それぞれ地区別に、供用開始の予定年度を、
お答えいただきたい。

それと、なぜそのような予定になるのか、についても併せてお
答えいただきたい。

質問事項	質問要旨
6番 村尾 礼示	
1. 災害時要配慮者登録制度の指導について	<p>この制度は障害者やひとり暮らしの高齢者など災害時に自力では迅速な避難行動ができない方が要配慮者登録をする事で、地域の支援者による日常生活の声かけなどとともに、災害時には避難誘導・救出活動・安否確認をしてもらい安心した暮らしが出来るためのものであるが、この制度が実態として機能していくために今後どのような指導をしていく考えであるのか。</p>
2. 安全で住みよいまちづくりの推進について	<p>犯罪の防止に関して、地域住民の安全意識の高揚と自主的な防犯活動を推進するため、安全で安心して生活できる地域社会の実現のための施策施行状況を伺う。</p> <p>(1) 犯罪の未然防止のための啓発はどのように推進していくのか。</p> <p>(2) 犯罪の防止のための環境整備はどのように取り組んでいくのか。</p> <p>(3) 町民の自主的な犯罪防止活動の促進はどのように進めていこうとするのか。</p>
3. あき地の管理の適正化について	<p>平成21年3月11日光台七丁目内の空き地において枯れ草などが燃える火災が発生した。隣接住宅の居住者による水道水の放水で家への類焼が免れたものの、大変心配されていた事態が現実のものとなった。</p> <p>町の条例との関係においても、住民の清潔な生活環境の保持と火災および犯罪の防止を図り、生命と財産の安全が確保できるのか考えを伺う。</p>

質問事項	質問要旨
14番 青木 敏	
1. 「改革プログラム」について	<p>平成17年度を初年度とする「改革プログラム」が作成されています。</p> <p>以下の点についてご質問いたします。</p> <p>(1) 毎年年度ごとに成果をお知らせするとありますが、どのように発表されているか。</p> <p>(2) 平成21年度が最終とあります。改革の柱と目標の進捗状況は。</p> <p>(3) 今年度、最終年度の取り組みとそれぞれの達成見通しを伺います。</p>
2. 特定健診について (メタボ健診)	<p>(1) 昨年度から実施された特定健診の受診対象者は何名で受診者数を伺います。</p> <p>(2) 精華町の受診率の目標は対象者の何%で達成率は何%かを伺います。(厚生労働省の実施計画では、H24年度の目標が70%市町村国保の目標は、65%のようですが・・・)</p> <p>(3) 昨年度の特定健診を町はどのように評価しているかを伺います。(住民の意識とか、結果についてとか・・・)</p> <p>(4) 特定健診が始まったことにより、従来からある各種の健診とがん検診の受診率に影響はあったのかを伺います。</p> <p>(5) 宮崎県美郷町では、脱肥満を目指す「脱みさとメタボリック大作戦！」を企画し、多くの住民が減量に成功しているようです。精華町も何か予防の企画があるかどうかも含めて、特定健診の取り組みについて伺います。</p>

質問事項	質問要旨
5番 内海 富久子	
1. 国の新経済対策について	<p>(1) 昨年の経済危機以来、政府・与党は切れ目ない経済対策に取り組んできました。しかし、想像以上の景気後退の中で、さらなる、対策を講じなければ「底割れ」しかねない状況であります。国民の生活をまもるために、H21年度補正予算の早期成立と迅速な実施が望まれております。環境・エネルギー、農業、医療、介護、子育て支援、教育、中小企業・雇用対策、地方財政支援、など、過去最大の14兆6987億円、事業規模約57兆円の予算が計上されています。様々なメニューは、都道府県に基金として設置されます。各自治体の実情に応じた積極的な取り組みが何より大事です。本町として、国の新経済対策をどのような考えで取り組まれるのか、お伺いいたします。</p> <p>(2) 「スクール・ニューディール」構想について 新経済対策のひとつの柱である、「21世紀の学校」の環境整備に、1兆円の予算計上、文科省は、学校施設の耐震化と併せて、太陽光発電の導入で、CO2の削減で環境教育にもつなげる。特に、ICT環境の整備には、国庫補助4000億円を計上。すべての公立学校のテレビの地上デジタル対応、電子黒板の設置、生徒・全教師用のパソコン設置、校内LANの整備率を100%とする。新学習指導要綱が目指す21世紀型の学びを展開する上で、施設設備の整備は急務であると考えますが。町の考えをお伺いいたします。</p> <p>(3) 女性のがん対策について 日本は今、2人に一人が、がんになり、3人に一人が、がんで亡くなる時代になり、死亡率も年々増加し、「世界一のがん大国」といっても過言ではありません。その中で、女性のがんについては、乳がん、子宮頸がん、卵巣がんは、若い人に起こりやすく、15歳から55歳までで、がん全体の60%を占めています。しかし、乳がん、子宮がんも、早期発見できれば、完治する可能性が高いことから、検診の受診率向上が不可欠です。国は新経済対策に、「がん検診の5歳刻み無料クーポンの導入と検診手帳の配布」を盛り込みました。「5年以内に50%以上」の受診率の目標への大きな一歩になると期待するところです。そこで、本町のがん受診率向上を高めるための観点から、どのような取り組みを考えておられるのかお伺いいたします。</p>

2. 住民基本台帳カードの普及について

住基カードは、他の市区町村にて住民票をとることができ、市外に移転する場合、転出届を郵送できる、また写真つきカードは公的な身分証明書として、使用できます。しかし、利用目的が少なく交付が進まない状況ではありますが、住民の利便性の向上や行政サービスの効率化という面からも町独自のサービス提供することが住基カードの普及に不可欠であると考えます。そこで、お伺いいたします。

- (1) 本町の普及の現状。利活用状況。
- (2) 普及拡大対策の取り組み。

質問事項	質問要旨
7番 塩井 幹雄	
1. 役場の障害者用駐車場について	<p>役場の玄関近くにある障害者用駐車場については、身体障害者にとっては非常にありがたいことであるが、ときどき障害者マークのない車が駐車していることがある。障害者の車で埋まってしまふのは仕方がないが、満車の時には一般駐車場に止めることになり、障害者の人に負担がかかることになる。一般の車が駐車しないような対策はどのようになっているのか、伺う。</p> <p>(1) 管理、運用はどのようにされているのか。 (2) 障害者でない車が駐車されたとき対処方法は。 (3) 住民への周知・広報はどのようにしているか。</p>
2. 学研都市病院の介護老人保健施設建設について	<p>学研都市病院の隣に老人保健医療施設（老健）新設が予定されているとお聞きしているが状況を伺う。</p> <p>(1) 現状の進捗状況、今後の建設計画の日程はいかがか。 (2) 病院への町の対応は。 (3) 老人保健医療施設（老健）が建設されたときの財政負担の予想は。</p>

質問事項	質問要旨
10番 鈴木秀行	
1. いのち・暮らしを守る	<p>介護制度を誰もが安心して利用できるために、介護保険制度のあり方の見直し、公的な介護制度の抜本的な見直しが求められる。</p> <p>(1) 介護が受けられない実態をなくするために、保険料を応能負担に、利用料を無料に</p> <p>(2) 労働条件の改善、人材不足の解消、雇用創出を</p> <p>(3) 高齢者の生活支援や健康づくり</p>
2. 農業のさらなる発展を目指して	<p>農地法の「改正」案について、町の見解と対応</p> <p>(1) 農外企業「利用」のねらい</p> <p>(2) 「耕作者主義」の農地制度を守る対策</p> <p>(3) 耕作放棄（地）の解消策</p>
3. 地域要求実現に向けて	<p>(1) 兜台5丁目バス停に横断歩道設置を</p> <p>(2) 街灯設置、車の離合注意箇所、信号機設置などの要望をいたるところで聞いた。安全・安心なまちづくりの基本的な町の考え方、進め方を問う</p>

質問事項	質問要旨
2番 森田喜久	
1. 交通不便地域の対策について	<p>精華くるりんバスの基本的な考え方として、公共交通体系の中で、鉄道・路線バス等の運行がなされていない地域の公共交通へ の手段として、又、買物や病院利用などの生活利便性の向上を図 ることを目的として、運行がなされているものと思っている。</p> <p>そうした中で、近くに公共交通手段のない東畑地域に対し、以 前から複数の議員からも質問がありましたが、現在どのように取 り組んで頂いているのかを伺います。</p>
2. 交付金使途について	<p>4月27日、国会で地域活性化経済緊急対策交付金1億2千百 万円が本町に交付されました。</p> <p>その使い道はどのようにされるのか、伺います。</p>

質問事項	質問 要 旨
15番 安宅吉昭	
1. 狛田駅周辺の整備について	<p>「学研都市精華町」の北玄関となる狛田駅周辺の整備は町長の一日も早い整備をとの強い思いで着手されています。現在の進捗状況と今後の方向性につきお伺いいたします。</p> <p>(1) 狛田駅の東側は「特定土地区画整理事業」が平成23年度完成を目指して19年度から造成工事が始まり、20年度の造成工事も終わりました。そして21年度も2億4,000万円の事業費が計上されました。ただ、事業進捗としてはやや遅れ込むのではと推察されますが、進捗状況としてどう捉えているのか。</p> <p>(2) 区画事業区域とのアクセス道路の整備という課題があります。すでに地元自治会からの要望もいくつか出ており検討されていることと思います。特に府道八幡木津線との接続は難しい点もあるとされるが、具体的にはどのような検討段階にあるのか。</p> <p>(3) 狛田駅中・西側の整備についても住民からの要望・請願も出されました。駅中は地区特性もあり、どのような整備がふさわしいのかという大きな課題があります。平成21年度は調査費として250万円が計上されましたが、具体的にはどのような調査研究をしていくのか。</p>
2. 打越台グラウンドの駐車場問題について	<p>打越台グラウンドは本町の「総合グラウンド」ともいえる大事な体育施設であり、競技スポーツ・生涯スポーツの両面で広く活用されているところです。しかしながら、車でないと行けないという立地条件であるにもかかわらず、駐車場は60台程度しか確保されていません。抜本的な対策を求める住民の声は多いが、どのように検討されているのかお伺いいたします。</p> <p>(1) 隣接する自衛隊祝園分屯所の土地を借用して駐車場を確保するという考えが浮上するが、具体的な話としてあるのかどうか。国と協力関係にある自治体のいい関係を構築するという観点からも積極的に推進することを求めたいがどのように考えるのか。</p> <p>(2) 打越台環境センターは木津川市に新しい清掃工場が設置されると現在の役割を終えるとどう活用するのかという課題が生れます。その際に駐車場を確保するという想定もあるが、8年も先のこととなると間に合わない。どのように考えるのか。</p>

質問事項	質問要旨
9番 松田孝枝	
1. 「ほほえみの丘公園の森」の安全対策を	<p>光台 8 丁目に「ほほえみの丘公園」があります。公園の奥は急勾配の森が広がり、途中には町内を展望できる場所もあり森は「光台配水地」へと広がっています。森全体は地元のクリーンパートナーの方などの日常的な努力で、低木や雑草なども刈られ、周辺の子どもたちにとっては恰好の遊び場となり「冒険の森」となっています。山道を登ると稜線に沿って遊歩道があり大人にとっても手軽な「山の散歩道」となっています。</p> <p>地元の保護者の方から「よい遊び場なのに、裏山が危険。安心して遊べる場所にしてほしい」という声が届けられました。ゴールデンウィーク前でもあり、すぐに現場を確認し緊急的な対応をお願いしすぐに対処をしていただきました。</p> <p>この場所は精華町域から見ると、前述したように風光も明媚で危険を感じるような場所ではありませんが、裏山は長年にわたって土石採取業者が「土石採取」を続け、いまだに原状回復がされていません。さらに地質的にも土砂崩れの危険性が高いとされている場所です。環境保全、危険防止の視点から次のことを求めます。</p> <p>(1) 土石採取業者が原状回復を実施し、環境保全と危険防止策を講じるよう関係府県に指導性の発揮を求めること。</p> <p>(2) 町として「ほほえみの丘公園の森」の安全対策を講じること。</p>
2. 学童保育の拡充	<p>この間、幾度となく一般質問でも取り上げてきましたが、今回は「保育時間の延長」に絞って、その実施を求めます。</p> <p>現行の保育時間は午後 6 時までとなっていますが「せめて保育所と同じ 7 時まで実施をしてほしい」という強い願いがあります。一例を紹介します。ある学童クラブで実施したアンケート結果では、回答数 40 件、時間延長を望む声は 9 件を数えています。「職場の異動で 6 時までのお迎えはきびしい」「6 時のお迎えに間に合わなくて心苦しい。時間延長を切に願っています」…このような声が寄せられています。また、アンケート以外でも「親の帰宅時間にあわせて、塾やおけいこ事に行かせている」「2 重保育でしのいでいる」といった声も寄せられています。</p> <p>勤務形態の多様化や共働き家庭の増加、児童の放課後の安全保障の立場からも、学童保育の時間延長は切実に求められています。町として責任ある立場での開設を求めますが、現状認識と検討の</p>

	<p>推移と、今後の見通しについて伺います。</p>
<p>3. 「検討する」のその後</p>	<p>3月議会の代表質問でも実施を求め「検討する」との答弁を得ていますが、その後の検討経過と実施の見通しについて伺います。</p> <p>(1) 住宅耐震化改修助成制度の創設 町耐震診断を活用し、住宅改修の必要を感じながら府の助成制度が利用できないという事態が起きています。早い時期での創設を求めます。</p> <p>(2) くるりんバスの拡充 交通不便地域として路線バスが運行され、路線廃止の後も府や町の補助金で運行されていました。東畑地域の公共交通対策についての基本的見解と、当面、くるりんバスの路線延長についての検討はどのように進められているか伺います。</p>

質問事項	質問要旨
17番 杉山 義尋	
1. 狛田駅周辺整備について	<ul style="list-style-type: none"> (1) 狛田駅周辺整備の、今後の整備計画は (2) 調査費 (2,558,000 円) どこを。どのような。調査になるのか、伺う。 (3) J R の踏切拡幅の計画は、どのようになっているのか、伺う。(僧坊菱田線) (4) 駅東特定区画整理事業の今後の推進計画を伺う。

質問事項	質問要旨
16番 和田 貴美子	
1. 子育て支援について	<p>核家族化が日本社会に定着し、価値観の多様化が時として、人のつながりを希薄にしている一因と考えます。人と人が交流することで、親も子も共に成長し、一人で問題を抱え込まない社会にと、多くのボランティアの人達が力を貸してくれています。</p> <p>「子どもを守る町宣言」をしている本町は、多くの施策が実施され、安心して子どもを産み育てる良き環境づくりに取り組んでいると高く評価しています。</p> <p>平成20年度に病後児保育が医療施設併設型として、学研都市病院に委託し実施されました。また一つ、子育て支援策が充実したと喜んでいます。昨今の景気状況、雇用状況の悪化を考える時子どもが病気の時でさえ仕事が休めない。休みにくい。休めば解雇という現実があります。</p> <p>子どもの安心・安全な成長を願っての子育て支援拡充の観点から、以下の質問をします。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 病児保育の設置 (2) 精華病院と新設保育所の併設型で、病児・病後児保育の設置 (3) 病後児保育や大和の家でのトワイライト事業等の周知度と利用実態 (4) 小児科夜間救急医療体制への取り組み (5) 学童保育の充実 (6) 感染症対策

質問事項	質問要旨
3番 今方晴美	
1. 更なるリサイクル推進を求めて(陶磁器等のリサイクル)	<p>現在、ひびが入ったり欠けたりで使えなくなった食器は、一般的には再利用の方法がなく、不燃ごみとして埋め立て処分がなされており、その量は不燃ごみの5～6%を占めると言われています。そこで、破損した陶磁器の再資源化の取り組みを始めてはと考えます。東京多摩ニュータウン環境組合では、リサイクルセンターで住民からの不要となった陶磁器の持ち込みを受け付け、多治見市の陶土メーカーに運搬、陶土メーカーではそれを破碎して陶土と混ぜて器の原料にするという取り組みがなされています。陶器の原料である粘土は天然の限りある資源であり、今、粘土の枯渇化が言われており、輸入に頼る状況もあることからリサイクルできるものならぜひとも取り組んでほしいと提案いたしますが、いかがでしょうか。また、これから再資源化できるものの分別収集を何かお考えでしょうか。あわせてお伺い致します。</p>
2. 教育行政の充実	<p>(1) 教育現場における脳脊髄液減少症への理解と早期対応。</p> <p>交通事故やスポーツ外傷など、身体への強い衝撃を受けた後、明らかな、体の不調が続いていても、その原因がはっきりせず、周囲の人たちからも怠け病や精神的なものなどと判断されて、つらい思いをしている人たちが多いようです。そうした患者の中に、脳脊髄液が漏れ続け、頭痛、目まい、倦怠感などの様々な症状が複合的に現れる場合があることが近年の研究の結果解りました。従来、むち打ち症と言われていたものの中にもこの病気が含まれている場合もあり、潜在的な患者数は全国に約10万人以上いると言われております。また、最近では、教育現場における事故によっても脳脊髄液減少症が引き起こされることが明らかになり、文部科学省より適切な対応についての通達も出されております。そこで、次の点をお伺い致します。</p> <p>①一昨年5月、文部科学省は「学校におけるスポーツ外傷等の後遺症への適切な対応について」の事務連絡を出しておりますが、通達を受け本町の対応はどのようにされたのでしょうか。また、このような病気の症状が疑われる児童・生徒はいたのでしょうか。</p> <p>②この病名については、認知度も低く学校現場における教職員や保護者に対する周知徹底の必要性を感じます。この脳脊髄液減少症への理解のためにどのような取り組みをされている</p>

のでしょうか。

(2) インターネット、携帯電話に起因する問題。

平成20年6月議会で私は、学校裏サイト、プロフ、ネット上のいじめや犯罪、トラブルに巻き込まれやすい危険性について一般質問を致しました。その中で、フィルタリングの必要性やモラル教育の推進を求めましたが、ネット上のいじめに苦しむ子どもたちのために、いじめの兆候をいち早く把握して、迅速な対応を行うとともに、情報モラルの指導や保護者への啓発活動を行い、ネット上のいじめを許さない学校づくりを再度求めます。そこで、次の点をお伺い致します。

- ①現在どのような取り組みをされているのでしょうか。
- ②本町におけるネットいじめ、脅迫的なチェーンメールなどネットを媒体とした問題行動と実態について。
- ③子どもたちの携帯電話所持、利用についての実態把握はされたのか。

質問事項	質問要旨
12番 山口利忠	
1. 通学、通園の安全対策について	祝園保育所が統廃合されるということであるが、北の堂、馬淵地区から通学、通園するにあたり、新設保育所へのアクセス道路として、菅井・菱田線（農免道路）の歩道の計画について伺います。
2. 京奈和道路の騒音対策について	ユーストアやコーナン、また企業もたくさん進出され、京奈和道路を通行する車が増加し、周辺にお住まいの方が騒音で悩んでおられます。騒音防止ネットか騒音防止アスファルトをつけていただけるか伺います。

質問事項	質問要旨
13番 宮崎 睦子	
1. 学校・公園及びグラウンドの安全性の確保について	<p>球技をする頻度の高い学校、公園及びグラウンドで、ボールの外部への飛び出しの安全対策は十分に確保されているかお伺いします。このような施設の周辺は子供たちや歩行者が多く、通行車両にとってもボールの飛び出しは重大事故の原因となりかねません。絶対的な安全性の確保が求められるところではありますが、防球ネット等の点検について、安全基準及び点検の頻度、点検は町職員によるものなのか業者委託なのかも含めた具体的作業方法、さらには本町において点検が必要な施設数をお伺いします。</p> <p>また、精華南中学においては、本年の総務教育常任委員会での視察後の3月議会にて「防球ネットは早期に改修できるよう努力する」と回答していますが、今後の予算措置、改修完了の期限をお伺いします。</p>
2. 中学校の給食導入について	<p>現在小学生の児童をお育ての多くの保護者から中学校の給食導入の要望があることをお伝えします。</p> <p>要望の増加は働く女性が増えたことからと推測されますが、国の調査では「共働き世帯の割合」は、近年、若い世代において増加が顕著で約30年前と比べほぼ倍の約40%近くまで達しています。</p> <p>また、昨今の経済危機に遭遇し、各家庭において安定した収入の確保は必要不可欠となっており、あるシンクタンクの分析では、夫が働き妻は専業主婦といった夫婦間の分業は昨年リーマンショックで崩壊したというような報告もされています。</p> <p>母親のお弁当の良さを否定するつもりはありませんが、子育て支援と若い世代が住みよい町づくりという観点から中学校の給食導入は今後の重要課題と考えます。</p> <p>そこで、これまで実施した中学校の給食に関しての住民意識調査の実施回数と時期、調査結果の内容、調査対象および調査方法をお伺いします。</p> <p>併せて、本町の現在の「共働き世帯割合」、割合の今後の見通し、専業主婦の増減及びパート、アルバイト等の増減はどのようになっているのかをお伺いします。</p> <p>さらに、近隣市町村での中学校の給食の実施状況、これに対する本町の見解、また、導入した斡旋のお弁当予約システムの中学生の反応をお伺いします。</p>

3. 保育所職員について

保育士は女性が多い職業ではありますが、男性保育士に保護者や保育関係者からの期待は高いと聞いています。防犯上においても男性保育士の存在は、保護者の大きな安心につながると考えられます。また、離婚が原因となって親権問題が保育所に持ち込まれるケースなどもあり、現場からは「命がけで仕事をしています」といった声も聞こえてきます。大変な苦勞をされて子供を預かる保育士の言葉は、重く受けとめなければなりません。

町直営のほうその保育所、こまだ保育所、いけたに保育所でのそれぞれの総保育士数とそのうちの男性保育士数、総職員数のうち男性職員数をお伺いします。また、男性保育士を増やすことに対しての考え方をお伺いします。

質問事項	質問要旨
19番 坪井久行	
1. 子育て支援について	<p>この間、子育て最中の若い世代の皆さんと接する中で、厳しい社会情勢のなか、子育てへの政治の支援を願う声を多く聞いた。特に、子どもの医療費無料化の小学校卒業までの拡充を求める声は、子どもが呼びかけた署名に多くの方が積極的に応じられる状況であった。この問題については、町長自ら「任期中に実施する」と表明されているところだが、今日の経済不況に住民が苦しんでいるだけに、今年度中に実施されることを強く求めるものである。また、平日の午後・夜間の小児救急医療体制の充実を求める声も強く聞かれた。そこで、以下の点を伺う。</p> <p>(1) 子どもの医療費無料化の小学校卒業までの拡充を早期に実施する計画は。</p> <p>(2) 平日の午後・夜間の小児救急医療体制の充実をどのようにはかるか。</p>
2. 水問題について	<p>今日の府下の水問題をめぐる状況をみると、本町の水道事業にも少なからず影響する事態が考えられるので、この水問題での見解を伺うものである。</p> <p>(1) 宇治・木津・乙訓の府営3浄水場の接続にあたって、料金体系をどうするかが焦点になっている。府知事は、07年9月11日に「料金の在り方について」を府水道懇に諮問した。そして、09年3月の水道懇に、今年8月までに提言をとりまとめるように求めた。本町でも見解を求められるところだろう。その接続の際には、新規投資総額は154.2億円、その内水道会計負担は89.1億円とされ、料金値上げが予想される</p> <p>このような情勢のもとで、安全で安定的な水道を安価で供給するのが行政の役割であるが、本町としていかなる考えをもたれるのか、見解を伺う。</p> <p>(2) 大山崎町が府を相手取って07年度、08年度の基本水量決定処分(申込給水量は1日あたり3407㎡なのに、7300㎡の支払を義務づけること)の取消しを求める訴訟について、基本的に同じような状況を持つ本町として、どんな見解をもたれるのか伺う。</p> <p>(3) 総務省が水道事業を行っている市町村に対して、「水道プラン」の作成を求めているが、本町は、現時点でどんな構想・視点でプランを作成しようとしておられるのか伺う。</p>

質問事項	質問要旨
1 番 森 元 茂	
1. 第6区投票所の改善について	<p>第6区投票所（ほうその保育所）は、行き止まり道路の先であり、車で行くと回転できず、バックで南区の集会所まで戻らなくてはなりません。更に、投票所となっている部屋は、保育所の一番奥にあり、階段や段差が何箇所もあります。</p> <p>高齢者や足の不自由な方などは投票所にたどり着くだけで大変な状態です。投票所は、誰もが安全かつスムーズに行き来できる施設が望ましく、その意味では、現在の第6区投票所は劣悪な環境下にあると思います。このことが投票率の低下にもつながっているのではないのでしょうか。そこで伺います。</p> <p>(1) 第6区投票所を他の場所へ変更するか、現投票所を改修するか。いずれにしても、今のままでは済まされない問題と考えますが、いかがでしょうか。</p> <p>(2) また、他の投票所においても同様の考えは どのようなのか。</p>
2. 精華町地域福祉計画の策定状況と今後の取り組み方について	<p>旧社会福祉事業法が平成12年全面改正され、社会福祉法が制定されました。その中で、地域福祉の推進が基本理念の一つとして掲げられ、その条項の中の第107条において、地域福祉計画の盛り込むべき事項として</p> <p>①住民参加の促進策 ②事業の展開策 ③サービス利用の促進策</p> <p>が規定されています。誰もが住みなれた地域で、安心して住み続けることを目指すもので、地域住民が主役となり、事業者や行政と一緒に、支援を必要としている人を支えていく、新たな計画として期待されています。本町においても平成20年度から有識者、知識経験者、民生委員、住民代表者を募り策定委員会や作業部会を立ち上げ実現に向けて推進されていると思いますが、そこで伺います。</p> <p>(1) 1年間通して進められた策定委員会や作業部会の進捗状況は。</p> <p>(2) 今後の取り組み方は、どのように実施に向けて進めていかれるのか。</p>

